C.L.LINK THROTTLE CONTROLLER

この度は[スロットルコントローラー]をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は電子スロットルの入力信号を独自回路により制御しエンジンレスポンスを向上させるコントローラーです。 本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

お願い! ★性能向上、適合追加他の理由により、取扱説明書の変更をおこなっております。お手元の取扱説明書が最新でない場合はお問い合わせの上、取付・調整をおこなって下さい。

★<スロットルコントローラー>は文中では、<スロコン>と略させて記載させて頂きます。

▲警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- ■運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- ■本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- ■本製品は電子スロットルの制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合が考えられますので十分慎重に取り扱い下さい。

尚、何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

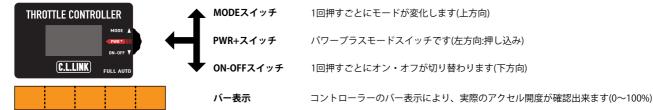
▲注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- ■取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- ■本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

●付属品

◎スロコン本体×1◎コントローラー (ハーネス付) ×1◎DCXコネクター (アクセルセンサー接続ハーネス)◎タイラップ×8◎両面テープ (大) ×1 (小) ×2◎ステー×1◎エレクトロタップ (大) ×1◎取扱説明書(本用紙と取付編)×各1

●コントローラースイッチの操作・機能・バー表示



●モードについて

MODEスイッチ操作(上)をすることにより各モードに切り替わります。好みのモードにて使用して下さい。



表示	内容
ECO MODE	都内タクシー会社のテストにおいても、高燃費を記録したエコモードです。
AUTO MODE1	アクセルワークにより最適なマップを自動選択するインテリジェントモードです。 アクセルの踏み始めからスムーズな加速感が味わえます。 未番の数値が大きいほどアクセルの反応、加速感が増します。
AUTO MODE2	
AUTO MODE3	
AUTO MODE4	
SPORT MODE 1	アクセルオン・オフを繰り返すスポーツ走行等に絶大な効果を発揮するモードです。 末番の数値が大きいほどアクセルの反応、加速感が増します。
SPORT MODE 2	
SPORT MODE 3	
SPORT MODE 4	
SPORT MODE 5	
SPORT MODE 6	
SPORT MODE 7	
POWER+MODE	PWR+スイッチを操作することにより強烈な加速感があじわえるモードです。

▲注意 車両の燃費はアクセルワーク他要素にて大きく変化します。エコモードにて逆に燃費が下がる場合もあります。 逆にスポーツ、オートモードにて燃費が上がる場合も多々あります。

▲注意 ごく一部の車両はスポーツモードの急激なアクセル信号の変化を異常と判断しスロットルエラーが入ることがあります。 その場合は必ず専用機器にてリセットをかけ、スポーツモード5~7での運転は控えて下さい。

★オートスタート・オートオフ機能:アクセルペダル操作にて自動的にスロコンがオンになる機能です。

スイッチの手動操作をおこなわずにスロコンを作動させることが出来ます。

オートスタート中は、アクセル操作を90秒以上おこなわないと自動的にノーマル状態に戻ります。

(オートオフ機能)

★ノーマルモード&走行時間表示

アクセル開度表示 時間表示 DRIVING TIME

- ●ON-OFFスイッチの操作によりノーマル状態に切り替わります。 <DRIVING TIME>表示中はノーマル状態です。
- ●DRIVING TIMEの時間表示はエンジン始動時からのトータル時間です。
- ●走行時間は2時間を経過すると<⇒>マークが出て一度リセットされ、再度カウントが始まります。

★パワープラスモード

アクセル開度表示 ALL TIME

MODE

- ●PWR+スイッチの操作により強烈な加速感が得られます。
- ●パワープラスモード中はブザー音が出ます。 *設定によりブザー音を消すことも出来ます。
- ●パワープラスモードは何らかのボタン操作かアクセル操作にて解除出来ます。 *MODEスイッチよりキャンセルをおこなった時はモード表示が1段上がります。

★オートパワープラス機能

アクセル開度表示 POWER+

モード名

●アクセルペダル操作にて自動的にパワープラスモードになる機能です。 (オート制御時のアクセル操作 参照) スイッチの手動操作を行わずにパワープラスモードを作動することが出来ます。

●オートパワープラス機能が作動中はコントローラーへ<POWER+>が表示されます。

●オートパワープラス機能作動中に上記と同じアクセル操作をおこなった場合、機能は停止します。

●設定変更

- ●初期設定後はオートスタート、オートオフ、オートパワープラスが働く仕様になっています。ご自分の車両、運転方法により最適な設定を選択して下さい。
- (1) 下記の設定変更が可能です。設定変更手順は(2)を参考におこなって下さい。



エンジンを始動させた時にスロコンがオン状態から始まるか、オフ状態から始まるかを決定出来ます。

*装着車両をオーナー以外の方が利用する機会が多い場合は<START OFF>がお勧めです。

*オートスタートを利用される場合は必ず<START OFF>に設定して下さい。

*初期值 <START OFF>

②オートスタート オン/オフの選択

SETTING

DEFAULT

ST-AUTO
ON • OFF

ボタン操作をおこなわずにアクセル操作のみで作動状態にする機能の設定です。

- *90秒間アクセル操作をしなかった場合には自動で非作動状態に戻ります。
- *この設定を有効にする場合は①オン・オフスタート選択を<START OFF>に設定して下さい。
- *初期値<ST-AUTO ON>

③スタートモードの選択

SETTING
DEFAULT

* * * MODE

エンジン始動時に、どのモードから始まるかを設定出来ます。

- *通常走行で一番使用し易いモードを選択して下さい。
- *初期值 <AUTO MODE1>

④オートパワープラス オン/オフの選択

SETTING

DEFAULT

POWER+
ON • OFF

ボタン操作をおこなわずにアクセル操作のみでパワープラスモードを作動させる機能の設定です。

*パワープラスモード作動中にアクセル操作で標準モードに戻すことが可能です。

*初期値<POWER+ON>

・ ⑤パワープラス作動時のブザー音選択



パワープラス、オートパワープラス、リバース時のブザー音選択が出来ます。

BUZZER ON→ブザー音あり

BUZZER OFF→ブザー音なし *OFFを選択した場合はリバース時のブザー音もキャンセルされます。

*初期值 <BUZZER ON>

(2) 設定変更手順 *設定変更をする際の操作手順です。

0:00 DRIVING TIME ①エンジンを始動させ、<ON-OFF>スイッチにてノーマルモードにして下さい。



②<PWR+>を5秒以上長押しして下さい。→コントローラーの表示が上記の設定モードに入ります。



③コントローラーの表示が左記の設定モードに入ります。



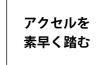




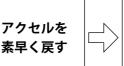
- ●設定を変更する場合は<MODE>スイッチを1回づつ押すことによりおこなって下さい。
- ●<ON-OFF>スイッチにより変更したい項目を選択して下さい。
- ●最終決定は<PWR+>スイッチを押しして下さい。→通常画面へ戻ります。

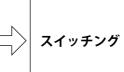
●オート制御時のアクセル操作

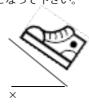
オートスタート、オートパワープラス時のアクセル操作のポイントです。参考にしてみて下さい。 ▲注意 アクセル操作による切り替えは、必ず前方に車両がいない場所にておこなって下さい。

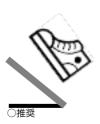












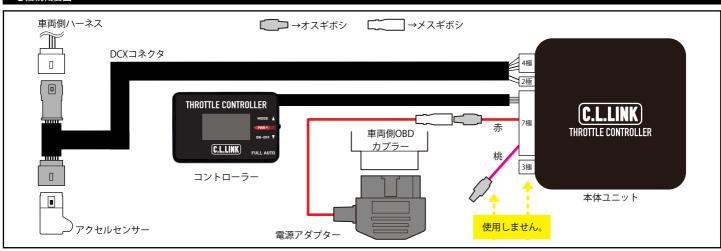
- ●アクセルを踏み込む前にアクセルペダルより足をやや上げるようなイメージで素早くアクセルペダルを踏むとスムーズな切り替えが可能になります。
- ●アクセル開度0%から約40%以上、素早くアクセルを踏み、すぐにアクセルを0%にするとスイッチングされます。
- ●オート制御を上手に利用すると、ハンドルより手を離さずにより安全な運転が可能になります。

取付方法から初期設定まで

●取付時の注意

- ●オプションパーツを接続する場合には各々の説明書を参考におこなって下さい。 また取付が完了しましたら、エンジンを始動させる前に必ず<初期設定>をおこなって下さい。
- ▲注意 ●取付作業はエンジン停止後、車両電源がOFFになったのを確認してから作業を開始して下さい。
 - →キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両があります(時間は車両により個体差があります)
 - →電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』をしてエンジンチェックランプが点灯してしまうことがあります。
- ▲注意 ●取付作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい→バッテリーをはずした場合はアイドリング学習、他設定が必要になります。
 - ●電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には注意して慎重に作業をおこなって下さい。
 - ●接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェックランプ点灯等の状況が出てしまいます。 この場合専用の機器しかエンジンチェックランプの点灯を消すことができない場合があります。慎重に作業をおこなって下さい。

●接続概要図



●取付手順

▲注意 取付作業はエンジン停止後、車両電源がOFFになったのを確認してから作業を開始して下さい。

①付屋のDCXコネクターを装着して下さい。











アクセルペダル上部のコネクターを抜きます。 *ロック部を押しながら上方向に抜きます。

アクセルセンサーのカプラーを抜いた状態。

赤色に塗られている部分がDCXコネクター になります。

②DCXコネクターの2極と4極カプラーを本体へ確実に差し込んで下さい。

③コントローラーの7極カプラーを本体へ確実に差し込んで下さい。







④ 7 極コネクターの赤線を付属OBD電源カプラーに接続し車両のOBDコネクターへカプラー接続して下さい。









(参考資料1:OBDアダプター以外の電源取付について)

OBD以外にも下記のようにブレーキカプラーなどから電源を接続する事も可能です。 この場合は付属の赤線端子をカットし常時12V電源線へエレクトロタップにて接続して下さい。







a:12V電源線の端子をカットし赤線をエレクトロタップのストッパーのある側に通す。b:赤線を挟み込み、桃線(一例として桃色を車両電源線で表しています)を通す。c:桃線を挟み込んでエレクトロタップを軽く数回ひねり取付。

*他にもIG(イグニッション)12V線もしくは常時12V線であれば接続可能です。 ACC12V線(アクセサリー電源)は誤作動・警告灯点灯の原因となりますので接続しないで下さい。

(参考資料2:ブレーキカプラーから電源を取得する場合)





ブレーキペダル上方にブレーキカプラーが存在します。

クルーズコントロールシステムの有無により配線数が異なりますが位置と配線色は 同じになります。

(画像左) クルーズコントロールシステム有車 (画像右) クルーズコントロールシステム無車

画像の桃色線位置が常時12Vになりますが生産年式や仕様変更等により配線色や位置が変更される場合があります。必ずテスターでご確認下さい。

⑤本体をインパネ内部に収納し、ハーネス類をタイラップバンド等でまとめて運転の妨げにならないようにして下さい。







(画像左)ドアミラースイッチがあるパネルの後方空間右側にスペースがあります。 (画像中)(画像左)のパネルを外した奥の銀と黒のユニット横に固定。 (画像右)(画像中)を拡大したもの。

*銀のユニットはお車の仕様により存在しません。

⑥コントローラーをお好きな場所に設置して取付作業は終了となります。続いて初期設定を行って下さい。

●初期設定

▲注意 初めて車両に装着する場合、装着車両を変更する場合に必ず必要です!

▲注意 初期設定を行わない状態で本製品を使用した場合、車両ECUがエラーと認識してしまいます。必ず正確な操作にて初期設定を行ってください。 初期設定はエンジンを止めた状態・かけた状態どちらでも可能となりますが、エンジンがかかった状態で行う場合はアクセルを踏み続けないようにご注意下さい。

①コントローラーの<ON-OFF>スイッチを下方向に押しながらイグニッションキーをオン状態にして下さい。(<ON-OFF>スイッチは5秒以上押し続けて下さい。)



イグニッション キーオン

または

エンジン スタート

②コントローラーの表示が初期設定モードに入ります。→スイッチ操作をやめて下さい。





- ③15秒以内にアクセル操作で、アクセル全閉(0%)と全開(100%)を2回以上繰り返して下さい。
 - ●1回でも可、念の為2回以上入力。
 - ●この操作で、アクセル信号の0~100%の電圧値が入力されます。
 - ●アクセルペダルを踏み損じた可能性のある時は、①~③の操作をやり直して下さい。
 - *エンジンがかかっている状態であれば踏み続けないよう注意して下さい。

④ 1 5 秒間の初期設定モードが終わると、『ピ〜音』と共に表示がノーマルモード(DRIVING TIME表示)に変わります。

●ハーネスが装着されていない等で初期設定ができなかった場合は『ピィピィ音』のあとに表示が<ERROR>に変わります。

→初期設定完了





→初期設定失敗



アクセル全閉(0%)

15秒以内に2回以上繰り返す!



全開(100%)

▲注意 初期設定がきちんと認識されない場合は各接続確認後、初期設定を再度おこなって下さい。

▲注意 ■初期設定をおこなわないで使用した場合はエンジンチェックが点灯してしまうことがあります。

■エンジンチェックが点灯してしまった場合はイグニッションキーをオン⇔オフをゆっくり3回以上繰り返し後、エンジンチェックが消灯するか確認して下さい。 消灯しない場合は、専用の機器にてエンジンチェックを消去して下さい。(カーディーラー等の機器)

ここまでで初期設定は終了となります。作動確認を行い問題がなければ作業は終了となります。

●作動確認

①イグニッションキーをオン状態にして下さい。(エンジンは始動させずに確認をおこなって下さい)

- ●アクセルオフの状態でバー表示が0%の位置(バー表示ゼロ)にあるか?確認をして下さい。
- ●アクセル全開の状態でバー表示が100%の位置にあるか?確認をして下さい。
- *上記の状態にならない場合は再度初期設定をおこなって下さい。
- ②ギヤがニュートラルもしくはパーキング状態であることを確認しエンジンを始動させて下さい。
- ③空ぶかしでエンジン回転がスムーズに上がるかどうかを確認して下さい。エンジンストール等の異常が発生する場合は、配線〜初期設定の作業を再度見直して下さい。

●リセット方法

設定データをリセットする方法です。初期設定中にアクセルを1度も踏まないと内部データが全てリセットされ初期状態に戻ります。この時表示はERRORになります。

●トラブルチェック

▲警告! 初期設定がきちんと認識されない場合は各接続確認後、初期設定を再度おこなって下さい。

コントローラーが表示しない	●12V電源の接続状態、常時12V線へ確実に接続されているか?を確認して下さい。
エンジンを停止させても表示が消えない	●最近の車両は電子化により、数多くの電子機器を使用しています。エンジンを停止してもそれらの電子機器に蓄電された電圧が落ちるまで時間が
	かかります。長いものでは、30分程度かかる車両もあります。しばらく消えないのは正常です。
アイドリング不調	●初期設定不良の可能性があります。初期設定を再度おこなって下さい。
	●取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまった時はアイドリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。
エンジンチェック点灯、吹けあがらない	●キースイッチを抜いてから完全に電源が切れる前に作業をおこなってませんか?
	(完全に電源が落ちてから作業をおこなって下さい)
	●カプラーの接触、挿入方向を再確認して下さい。
	●エンジンルームにも同形状のカプラーがあります。エンジンルーム内のカプラーに接続した場合、正常に作動しません。
	*必ず車内のアクセルセンサーのコネクターへ接続して下さい。
	●装着車両を変更した時は必ず<初期設定>をおこなって下さい。
エンジンチェックの消し方 応急処置	●エンジン始動 ⇔ 停止を3回~4回以上繰り返す。
	*停止時はエンジンを停止させてから10~20秒おいてからエンジンを再始動させて下さい。
	*応急処置後、必ず専用機器にてリセットをかけて下さい。
	●上記方法にてチェックが消えない場合はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。
<initial error="">と表示が出た場合</initial>	●初期設定が行われていない・リセット作動を行った場合に表示されます。初期設定をやり直して下さい。